

雛まつり 尾張徳川家の

特別展



特別公開

千利休 泪の茶杓

2.23 金・祝 - 3.3 日

2024 2.3 土 → 4.3 水

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 月曜日(但し、2/12(月・祝)は開館、翌2/13(火)は休館)
 観覧料 一般1,600円・高大生800円・小中生500円
 ※20名様以上の団体は一般1,400円・高大生700円・小中生400円
 ※土曜日は高校生以下入館無料
 主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・中日新聞社
 協力 名古屋市交通局

企画展

ひなを楽しむ — 旧家のひな飾り —

Thematic Exhibition *Enjoying Hina Dolls*
- Doll Displays of Respected Old Families of the Region



徳川美術館 蓬左文庫

THE TOKUGAWA ART MUSEUM

TEL (052)935-6262 FAX (052)935-6261

HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA

TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

市バス・地下鉄でのお得かけが便利でお得です!

ドニチエコきっぷ・一日乗車券・24時間券を利用して ご来館の方は、観覧料割引!

一般1,600円→1,400円 高大生800円→700円 小中生500円→400円

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」「24時間券」の利用範囲は、交通局ウェブサイトをご覧ください。



ご利用開始後の有効期限内のドニチエコきっぷ等の一日乗車券・24時間券を提示するだけで、名古屋市内の施設・飲食店等で割引等の特典が受けられます!
※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごや得ナビ」をご覧ください。

特典が受けられます!



尾張徳川家三世代の雛段飾り 明治～昭和時代 個人蔵

特別展

尾張徳川家の雛まつり | 徳川美術館

春の訪れを告げる雛祭りの時期に合わせて、江戸時代から近代に至る尾張徳川家伝来の雛飾りを展示します。江戸時代の姫君が所持していた気品溢れる有職雛や、婚礼調度のミニチュアである精緻な雛道具、近代の尾張徳川家三世代の夫人たちの雛人形が飾られた豪華な雛段飾りなど、展示室は大名家の雛飾りならではの華やぎに満ちています。歴史の重みを感じさせる雛人形・雛道具の数々をご堪能ください。



内裏雛飾り 昭和時代 秩父宮妃勢津子殿下所用

お黒黒の道具

姫君のための
お嫁入り道具と
小さな雛道具を
比べてみよう！



菊折枝時絵調度
黒黒箱・渡金箱 江戸時代
俊泰院福君(尾張家11代齊温継室)所用



菊折枝時絵雛道具
黒黒箱・渡金箱 江戸時代
俊泰院福君(尾張家11代齊温継室)所用

関連企画 ※講座への申込方法など、詳しくは当館ホームページをご覧ください。

◇ 土曜講座

① 史料からひもとく尾張徳川家3
—尾張徳川家の刀装具管理を考える— 学芸員 板谷 寿美

② 岩佐又兵衛と大名家 学芸員 長谷川 円

日 時：①2月17日(土) ②3月9日(土) 各日午後1時30分～午後3時(開場：午後1時)
定 員：各日80名(事前申込制です。すでに満席/当日空席があった場合のみ受講可)
会 場：徳川美術館 講堂
参加費：各800円(入館料別途要)

◇ 関連催事

雛まつりフотスポット

名古屋の老舗大西人形本店
(中区丸の内)による雛人形を
玄関ロビーにて展示公開

宝善亭「雛御膳」

春の彩りを盛り込んだ
懐石風お弁当 3,500円(税込)
①11:00～ ②13:00～
宝善亭:052-937-0147
※3日前までご予約ください。



次回展覧会

4月13日(土)～6月2日(日)

特別展
花笑い、
風の吹くらん



牡丹図屏風 八曲一奴の内左隻

◇ 体験講座

和の香りを楽しむ 組香「小草香」

日 時：①2月24日(土) ②3月2日(土)
(午前の部) 午前11時～12時
(午後の部) 午後1時～2時

定 員：各日12名(先着順・定員になり次第締め切り)
会 場：徳川美術館内 茶室 餘芳軒
参加費：1,000円(入館料別途要)
受付日：1月24日(水)より一般受付開始

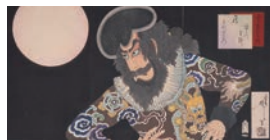
オンラインチケット販売

便利でお得な前売り券やペアチケット
(一般2枚 2,700円)も販売します。
右記QRコードよりご購入いただけます。
発売日：1月10日(水) 午前10時より



企画展

人・ひと・ヒト
浮世絵の人と顔



月岡芳年画 雪月花の内 月 市川三升毛刺九右衛門

企画展

ひなを楽しむ —旧家のひな飾り— 蓬左文庫

江戸時代以降の町なかを飾ったお雛さまは、尾張徳川家に伝えられた、大名家ならではの豪華で格式のある雛とは趣きが異なり、素朴で身近な親しみやすさが感じられます。近年徳川美術館に寄贈された雛人形・雛道具を含む、江戸時代から昭和にいたる様々なお雛さまをご紹介します。



享保雛 江戸時代



御殿雛飾り 明治～昭和時代 小見山家・柴田家寄贈



内裏雛飾り 江戸～明治時代 伊藤家寄贈

表面(上から)

- ・毛作り人形 犬 江戸～明治時代 個人蔵
- ・御所人形 江戸～明治時代 個人蔵
- ・有職雛(直衣姿) 江戸時代
貞徳院矩姫(尾張家14代慶勝正室)所用
- ・古今雛 江戸時代

※所蔵の記載がない作品は徳川美術館蔵



〒461-0023 名古屋市中区徳川町

- 基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- メーグル(徳川園・徳川美術館・蓬左文庫)下車
- JR中央線「大宮根拠」下車南口より徒歩10分